



SHIKA-CHU IB Journey

鹿追中学校国際バカロレア通信



鹿追町立鹿追中学校
IBCO 奥平 和也
2025.12.11 Vol.40

R7 年度 12 月全体懇談会

先日の全体懇談会にお越しいただいた皆様、誠にありがとうございました。本号では当日お越しになれなかつた方々向けに「IB の取組について」の部分の中身をお伝えさせていただきます。

お伝えしたのは①本校は「**探究型の学び**」をベースとしたカリキュラムを設計しているということ。また、

②全ての教科で単元毎に行われる「総括的評価課題」においては、**その探究の各サイクルで発揮させる力が常に育まれる様な課題設定を行なっている**ということ（もう少し知りたい方はこちら→1：生徒向けIBガイダンス資料、2：1年生向けIB学習ガイダンス資料）について簡単にお話をしました。そして、

③生徒が3年間鍛えてきた各サイクルで発揮されるステータス、すなわち**課題解決能力を結集して行われるのが総合的な学習の時間で行われるコミュニティプロジェクト（CP）**であり、生徒はそこで3年間培った力を証明・実感するとともに、自信を携えてその後の人生のステージへ向かっていく。といったお話をさせていただきました。（CPについてもう少し知りたい方はこちらへ→[鹿中IB通信NO.27](#)）

最後に！「百聞は一見に如かず」ということで、私が二日ほど前に急遽無理を言ってお願いした3年生の生徒2グループに、**実際にCP報告会で行ったプレゼンを再現していただき**、1-2学年の保護者の皆様に、IBのカリキュラムで学んだお子様の1年後、2年後の姿をイメージしていただきつつ幕を閉じた次第です。

今回は本人たちの許可を得ることができましたので、当日のプレゼンの模様を共有いたします。まずはぜひご覧いただければと思います。

⇒リンク：[**CP発表at全体懇談会**](#)

ご覧いただけましたか？いかがでしたでしょうか？？

少なくとも私が彼らの歳の頃、この様な取組、発表は決してこなせなかつたことは間違ひありません。もちろん未熟な部分や伸びしろもありますが、**彼らはまだ…「14-15歳」なのです！**

彼らがこの先のステージでどこまで力を伸ばし、そしてどんな課題をどんなレベルで解決に導いていってくれるのか。期待せずにはいられません。

「期待」は人を伸ばします（過剰な期待はいけません）。**一朝一夕では身につかない力を受けた**彼らは、次の場所でもきっと周囲の期待を受け、自らの可能性を広げていくことでしょう。

そして、**こうした力を本校では「狙って伸ばしている」（再現性有）**というところは、上述した過去のIB通信の中でもご説明させていただいた通りです。

ゆえに本校には、今回発表してくれた5名の生徒以外にも同等の実力を有する生徒がまだまだいるのです（手前味噌だったら御免なさい。笑）。

これまでこの IB 通信では主に「表現力」へのアプローチを説明してきたものの、実は「**考える力**」へのアプローチについてはまだ具体的にご説明する記事を書いていませんでした（そしてもうこの部分を書いたら、私が書く IB の要点・概要説明としてのこの通信は一旦の完結にしようかな？どうしようかな？と、自分の中で検討中です）。

というわけで、この IB の学び（探究型の学び）の集大成となる CP の取組を元に、

彼らの内面を育てる3つの柱、

「ATL スキル、10の学習者像、概念」についてご説明いたします。でも長くなってきたので・・・次号で！！

続続続・本校生徒の活躍

あ！ちなみに前号と前々号で紹介した十勝大会を勝ち上がり、2年連続、全道大会への出場を決めた演劇の生徒たち（鹿中IB通信 NO.38）ですが、その後行われた全道大会で「優秀賞」をいただきましたことをご報告申し上げます！！最優秀賞に続く賞ですので事実上の準優勝です。凄すぎる・・・。**演劇はかなり探究の要素を含む活動**と言えるので、彼らの全体的な表現力や協働力の

高さにも各教科の取組がきっと繋がっているはずで、「こちらももちろん狙い通り！」・・・と、言いたいところですが、これにに関しては**完全に「期待の斜め上」**です。期待されることは人を伸びし、期待を超えることは人を感動させますね。教職員一同日々、彼らから感動をいただいています。

そうした地盤の重要性に加えて、並走する教員のファシリテーター力が生徒にどれだけの好影響を与えるのかという点についても、チーム演劇の先生方から学ばせていただきました。🚀



※当日の演技が見てみたいという方はお問い合わせください^ ^

そしてそして！こちらも同じく前号で紹介していた、プログラミングで全道大会に出場した北くん。上述の演劇準優勝に続く、こちらも実質ベスト4に当たる賞（「優秀賞」と「プログラム賞」）を獲ってきた形です。予選含め100点以上の応募作品の中から選ばれたとのこと。そして苦手としていた人前でのプレゼンテーションも、それこそ観客席に業界のお偉方が揃い踏みの中、緊張を乗り越えつつ本当によく頑張りました👏✨（情動スキル大幅アップしたことでしょう！）

こちらも許可を得ましたので、よろしければ当日の様子をご覧ください。↓

<https://www.youtube.com/live/GfuVw23Di2E?si=NsEQjsh9a2OC7uSD&t=17440>

↑発表場面

<https://www.youtube.com/live/GfuVw23Di2E?si=hIbRXhSsgzu8ujgh&t=28028>

↑表彰場面

<https://hokkaido-procon.com/index.php> ←大会ホームページ





最後までご覧いただき、ありがとうございました。

バックナンバー2024	概要
<u>鹿中IB通信NO.1</u> ↑クリックするとアクセスできます。	この通信の趣旨や国際バカロレアとは何か？について書いています。
<u>鹿中IB通信NO.2</u>	年度当初に行った生徒向けのIBオリエンテーションについて書いています。当日の動画や資料も見られます。
<u>鹿中IB通信NO.3</u>	こちらは保護者向けのIBオリエンテーションと、同日行われた参観授業（国語）をIB視点で解説しています。
<u>鹿中IB通信NO.4</u>	参観授業紹介第二弾です。理科の授業の内容を《概念》と絡めて書いています。
<u>鹿中IB通信NO.5</u>	参観授業紹介ラストです。社会と保健体育の授業の内容から《IBで知識の定着にかける時間が減る問題》に対する工夫について紹介しています。
<u>鹿中IB通信NO.6</u>	IB教育の大きな柱であるATLスキルと10の学習者像とはどういったものかについて、道徳の授業実践を元に解説しています。

<u>鹿中IB通信NO,7</u>	十勝毎日新聞の記事になったというお話と、1学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中IB通信NO,8</u>	子どもたちが「総括的評価課題」に取り組む様子の紹介と、2学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中IB通信NO,9</u>	「SA」「CP」についての説明の前段としてのお話と、3学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中IB通信NO,10</u>	「SA」についての具体的な説明や生徒たちの夏休みの宿題について書いています。
<u>鹿中IB通信NO,11</u>	「コンサルタント訪問」についての説明や面談に向けての生徒や保護者のみなさまとのやりとりについて書いています。
<u>鹿中IB通信NO,12</u>	「コンサルタント訪問」の実際の中身と主に生徒たちの面談での応答について紹介しています。
<u>鹿中IB通信NO,13</u>	「文化祭と日常の学びの繋がり」について書いています。《前編》
<u>鹿中IB通信NO,14</u>	「文化祭と日常の学びの繋がり」について書いています。《後編》

<u>鹿中IB通信NO,15</u>	「コミュニティプロジェクト」についての説明と発表会の告知をしています。
<u>鹿中IB通信NO,16</u>	2学年の総合的な学習の時間「未来への提案」の内容と目的について紹介しています。
<u>鹿中IB通信NO,17</u>	保護者懇談会の中身と生徒の総括的評価課題の成果物について紹介しています。
<u>鹿中IB通信NO,18</u>	2学年の総合的な学習の時間「自分探究プロジェクト」の内容と目的について紹介しています。
<u>鹿中IB通信NO,19</u>	2学年の総合的な学習の時間「未来への提案」の発表会のお知らせをしています。
<u>鹿中IB通信NO,20</u>	「未来への提案」の発表会の動画と、「総合的な学習の時間と各教科学びの繋がり」について書いています。
<u>鹿中IB通信NO,21</u>	「自分探究プロジェクト」の実践のひとつについてのご紹介と関係するイベントの告知をしています。
<u>鹿中IB通信NO,22</u>	IBに関するPTA保護者のみなさまとの座談会の模様についてご紹介をしています。
<u>鹿中IB通信NO,23</u>	コンサルティング終了と認定に関しての取組について書いています。

<u>鹿中IB通信NO,24</u>	実際に鹿追中学校が認定されたらどうなるのかについて書いています。
------------------------------------	----------------------------------

バックナンバー2025	概要
<u>鹿中IB通信NO,25</u>	この通信の主旨や既習事項のリサイクルについて書いています。
<u>鹿中IB通信NO,26</u>	2025年度のIB概要説明（生徒向け）の模様について書いています。当日の資料や動画もご覧いただけます。
<u>鹿中IB通信NO,27</u>	本校生徒の活躍の一コマと、6月から始動する総合的な学習の時間「自分探究プロジェクト」と「コミュニティプロジェクト」について書いています。
<u>鹿中IB通信NO,28</u>	「体育祭」の改革と、修学旅行発表会のお知らせについて書いています。
<u>鹿中IB通信NO,29</u>	2025年度Unit1の各教科総括的評価課題の概要について紹介しています。
<u>鹿中IB通信NO,30</u>	「目指す生徒像」について書いています。
<u>鹿中IB通信NO,31</u>	「瓜幕中学校の視察」について書いています。

<u>鹿中IB通信NO,32</u>	IBの保護者向けワークショップのご案内について書いています。
<u>鹿中IB通信NO,33</u>	日々の取組の様子について、写真でダイジェストにお届けしています。
<u>鹿中IB通信NO,34</u>	日々の取組の様子について、写真でダイジェスト第二弾です。
<u>鹿中IB通信NO,35</u>	授業の中で探究のサイクルを実践していくことのメリットの一つについて書いています。
<u>鹿中IB通信NO,36</u>	鹿追町立図書館でのIBの取組と探究の町として発展していくためのキーポイントについて書いています。
<u>鹿中IB通信NO,37</u>	探究の町として発展していくためのキーポイントとして都留文科大学との交流について。そしてIB教育実習生の視点から見た本校の様子について書いています。
<u>鹿中IB通信NO,38</u>	本校生徒のクラウドファンディングへの挑戦について、また多方面に渡る生徒の活躍ぶりについて紹介しています。
<u>鹿中IB通信NO,39</u>	コミュニティプロジェクト(CP)報告会のご案内と、各グループのプロジェクトタイトルについて紹介しています。